



1. 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2. 年間計画

前 期		後 期	
月	内 容	月	内 容
4	オリエンテーション	10	昔話と古典
	ふしぎ 桜蝶 聞くということ		物語の始まり
	お気に入りの一品を紹介する		故事成語
	書写		書写
5	言葉とコミュニケーション	11	蜘蛛の糸 河童と蛙
	言葉の単位		オツベルと象
	自分の脳を知っていますか		後期中間テスト
	資料をもとに紹介文を書く		書写
6	前期中間テスト	12	日本語の文字
	漢字の部首 日本語の音声		子どもの権利
	ベンチ 構成を考えて話す		イメージを言葉にする
	書写		書写
7	全ては編集されている	1	漢字の音と訓
	写真で「事実」を表現する		言葉がつなぐ世界遺産
	画数と活字の字体		地域から世界へ
	書写		書写
8	材料を整理して案内文を書く	2	単語のいろいろ
	根拠を明確にして意見文を書く		漫画で「物語」を表現する
			熟語の構成
			後期期末テスト
9	持続可能な未来を創るために	3	四季の詩
	前期末テスト		少年の日の思い出
	森には魔法使いがいる 文の成分		方言と共通語
	書写		書写

3. 評価の観点（目標）と方法

知識・技能・・・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

思考・判断・表現・・・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

主体的に学習に取り組む態度・・・言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

評価の観点	方法（評価の資料となるもの）
知識・技能	漢字テスト、定期テスト、ノートの作り方 書写など
思考・判断・表現	交流の際の話し合い活動への姿勢（話し方・聞き方）、発表練習の取り組み、意見文のへ取り組み、ノート作り、定期テスト など
主体的に学習に取り組む態度	授業や課題に積極的に粘り強く取り組もうとする姿勢、自分なりに見通しをたてて学習しようとする姿勢、ノート作り、ワーク・プリントの取り組みなど

4. 授業と家庭学習では

まずは、授業です。話をしっかりと聞き、積極的に発言する。わかることはわかる。わからないことはわからない。自分なりのノートを作ってみる。板書だけでなく、気がついたことや大切なことをメモすることも必要です。そんなふうに一生懸命に、真剣に授業に向かうことが“一番”です。「話すこと」「聞くこと」「書くこと」「読むこと」に得意・不得意関係なく挑戦してみることです。

家庭学習では、ノートを利用して思い返してみたり、まとめ直してみたりするのもいいです。また、漢字テストを毎週行っています。事前にプリントが配られますので、満点取れるように頑張ってみましょう。学習内容によっては「これやったらいいよ」もいますので、参考にしてください。

最後に、『文字』に少しずつでもいいので触れてみることです。朝読書を利用してもいいし、新聞を読むのもいいし・・・たくさん『文字』に触れる機会を作ることです。また、『言葉』をたくさん発してみることです。しっかり聞こえて伝わる返事、爽やかで笑顔のあいさつ・・・たくさん『言葉』を発する機会を作ることです。がんばってくださいね！